

資料5-2

# 神戸市の下水道事業 ～西河原地区の浸水対策～

平成30年3月23日（金）  
神戸市建設局下水道部



### ● 安心で快適な市民生活と社会活動を支える

I.膨大なストックの改築更新 II.改築に併せた施設の耐震化

### ● 浸水に強い安全なまちづくり

I.浸水対策事業の促進 II.改築に併せた施設の能力増強

### ● 健全な水環境と循環型社会の実現の貢献

I.高度処理の導入 II.資源・エネルギーの有効活用 III.CO<sub>2</sub>削減の取り組み

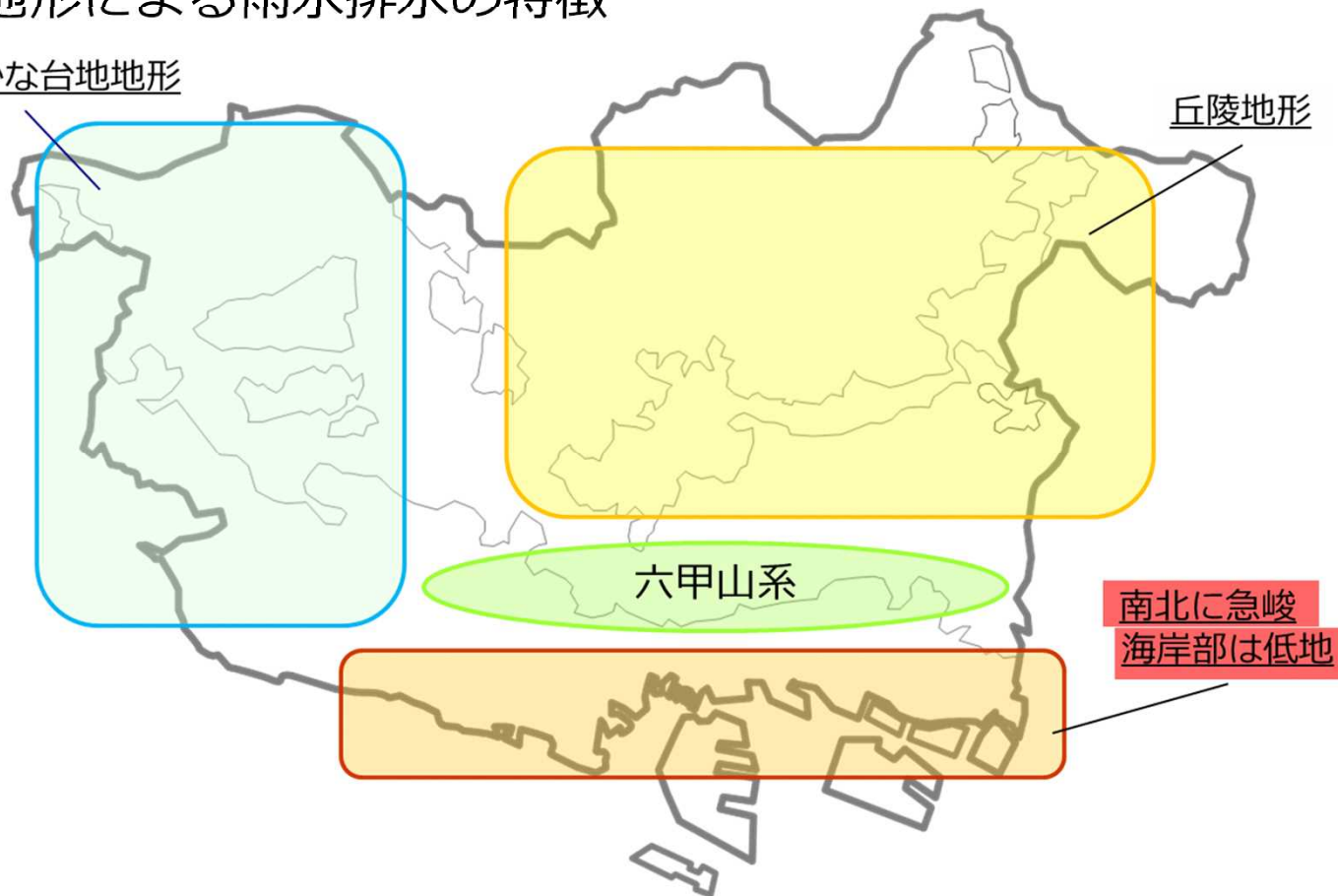


# 神戸市の雨水排水の特徴



## 神戸市の地形による雨水排水の特徴

なだらかな台地地形



丘陵地形

六甲山系

南北に急峻  
海岸部は低地

- ・ 市街地中心部（表六甲）では雨水排水上恵まれた地形である反面、豪雨が発生すると降雨は急流となり、短時間に大量の水が低地に集まる
- ・ 海岸部は低地であり、高潮の影響を受けやすい
- ・ 都市化が進み、雨水が地面にしみ込まず、地表を流れる



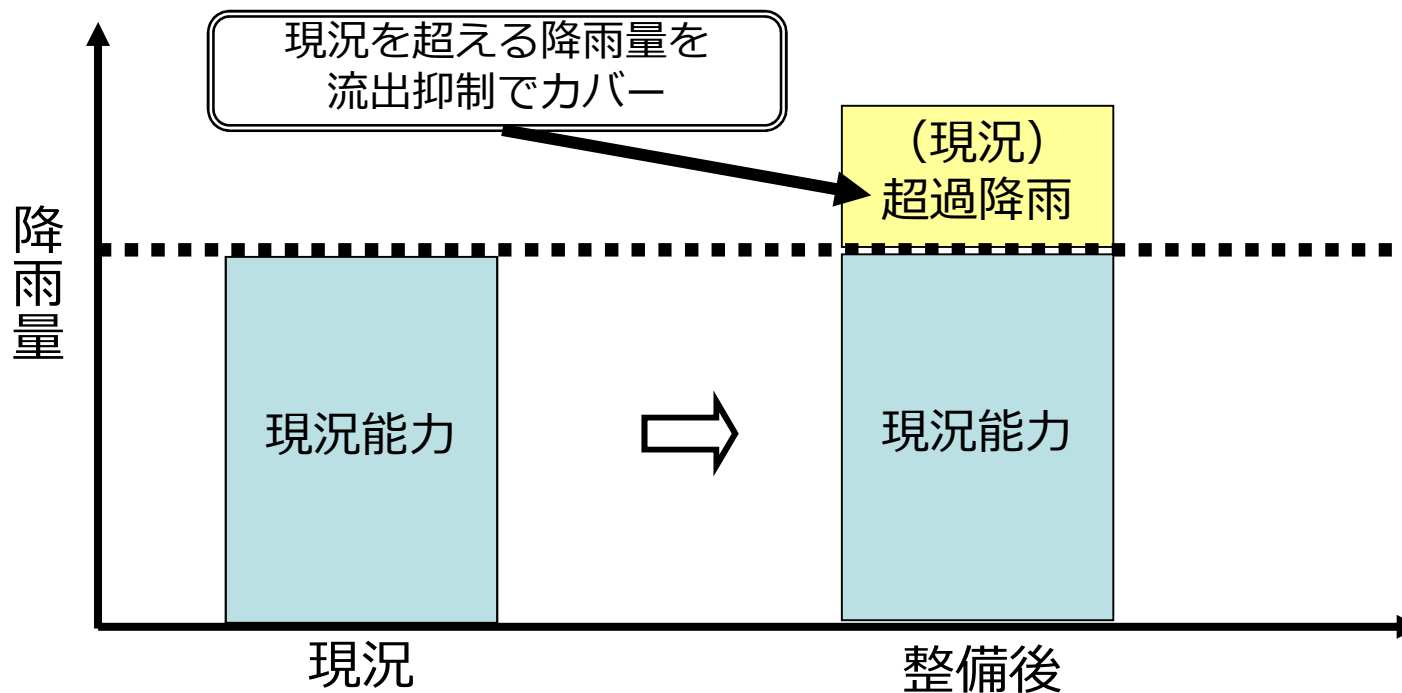
10年に1回程度発生する降雨に対して浸水が生じないことを目標に

- (1) 雨水排除能力を強化する**雨水幹線**の整備
- (2) 海岸部付近の低地域では外水位に関係なく雨水排除を可能とする**ポンプ場**の整備

+

- (3) 雨水を流出しにくくするための、**雨水流出抑制施設**の整備
- (4) 「自助・共助の促進による浸水被害の最小化」を目的とした**内水ハザードマップ**の公表

# 雨水流出抑制施設



- （東灘区）本庄遮集幹線（貯留量 3,000m<sup>3</sup>）
- （中央区）春日野公園雨水貯留施設（貯留量 2,000m<sup>3</sup>）
- （兵庫区）中部処理場跡地雨水貯留施設（貯留量 5,800m<sup>3</sup>） など









# 西河原地区とは





# 浸水被害

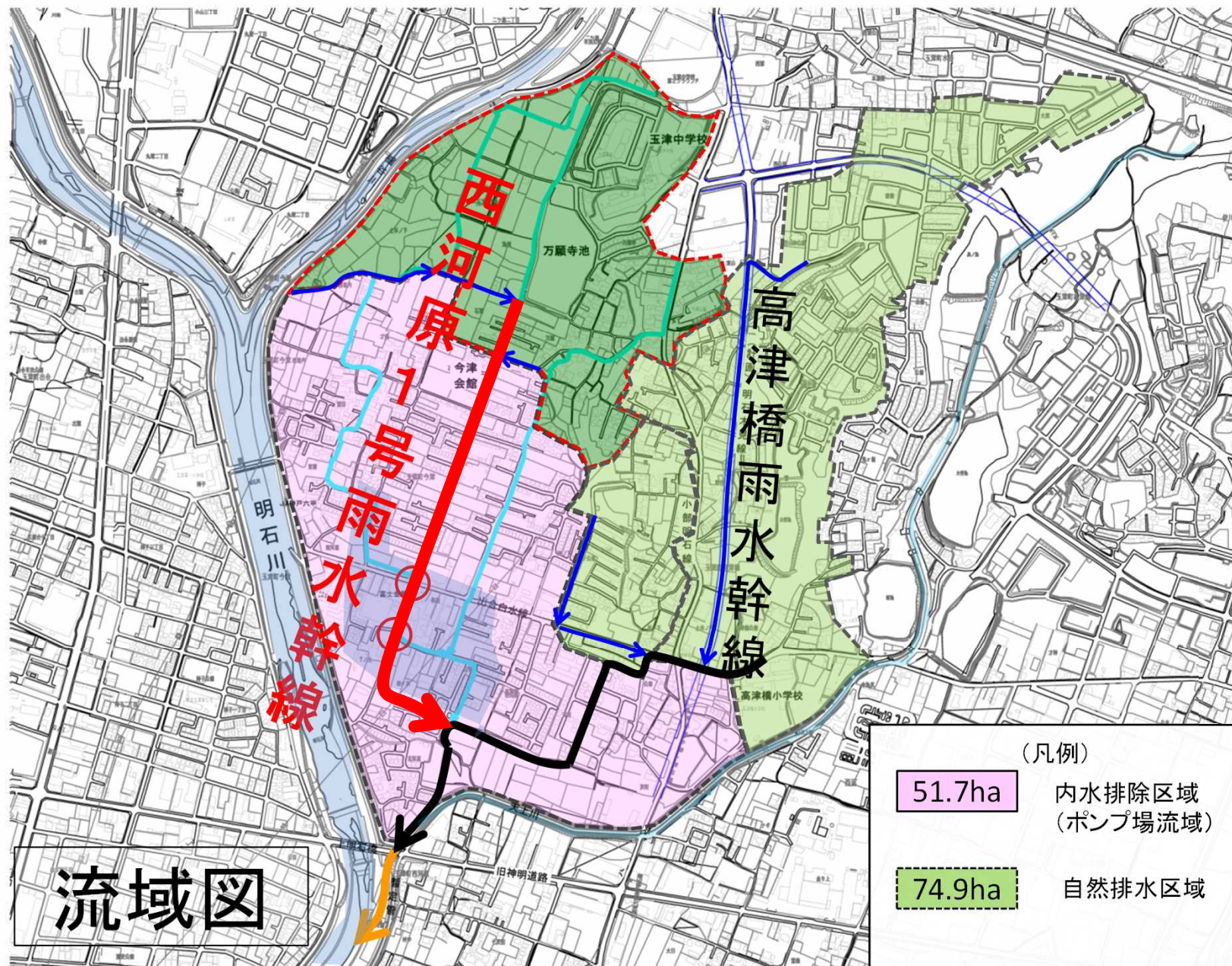




# 浸水の原因

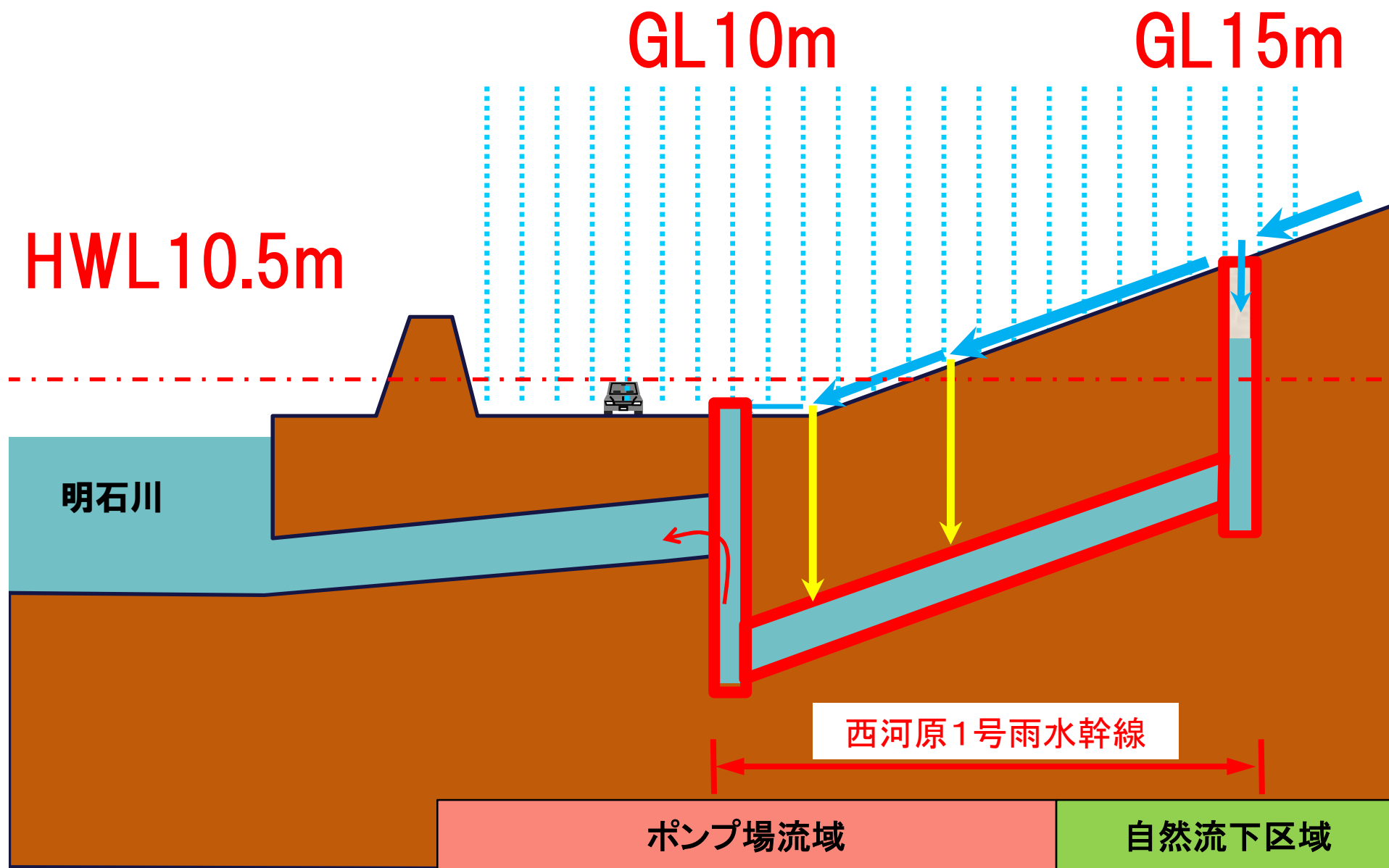








# 西河原1号雨水幹線の計画縦断



# 西河原1号雨水幹線の整備



- シールド工(泥土圧式)  
掘削マシン外径  $\phi 2,510\text{mm}$   
管渠内径  $\phi 2,000\text{mm}$   
延長 950m
- 地盤  
軟弱粘性土 N=0~砂礫土 N>60



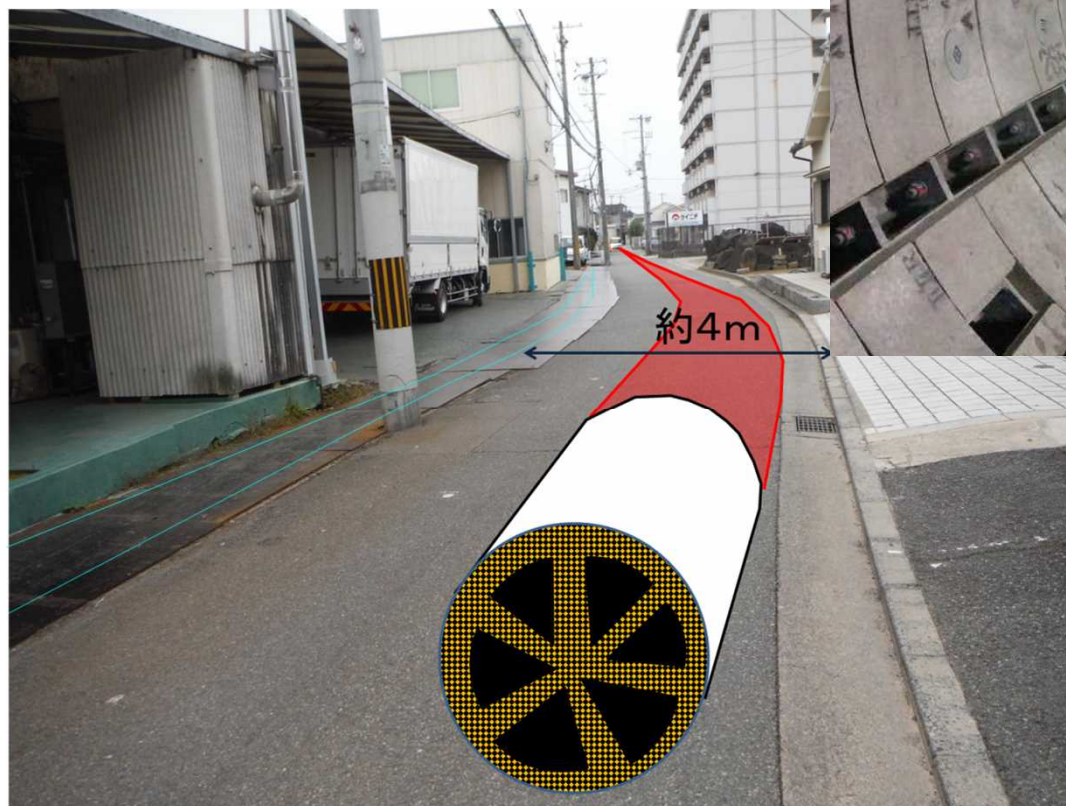


# 現在の状況と今後の予定



## 現在の状況

シールド掘進中  
(平成30年6月頃到達予定)



## 今後の予定

平成31年春頃  
雨水幹線供用開始予定



これからも神戸市の下水道事業に  
ご協力をお願いします